

設備保全管理システム

設備の保全業務全般を支援する為、保全作業の計画から記録、点検、使用する部品の管理や、関連する技術文書の蓄積、メンバー間の連絡ツールなど、保全業務に必要な機能をサポートします。また情報を蓄積し分析することにより、保全業務の迅速化、品質向上やコストの管理をサポートします。



基本機能

保全記録

各種保全記録の蓄積、管理、分析のサポート

- 各種保全記録への対応(残件の管理他各種対応)
- 分析の為に詳細な記録&登録が可能
- 項目入力と自由記述(画像、Excel など OLE 貼付けをサポート)

保全計画

各種計画項目登録とスケジュール管理、予実管理

- ルールと作業内容、作業コスト、手順書、使用パーツ登録
- カレンダー形式(ドラッグ&ドロップでのスケジュール調整機能)
- 事前案内メールなど進捗監視機能もサポート
- TBM:自動スケジューリングと補正
- CBM/BM/CM/残件:各保全用の管理とスケジュール登録

部品管理

数量カウントで管理を行う消耗部品・交換部品の管理と、シリアル No で履歴管理を行う部品の管理

- 発注点管理(監視、適正值修正支援)
- 計画保全パーツのバッチ出庫処理
- ハンディーターミナル入出庫にも対応(バーコード管理にも対応)
- 預託品管理にも対応
- 取り付け先、取外し 修理 在庫の状況管理
- 累積使用時間、累積使用回数管理(許容使用時間超過や許容使用回数超過などの通知機能もサポート)
- 修理フローは外注&受け入れ、内部修理(記録)にも対応

点検

作業/点検項目の登録と入力

- 入力時のエラーチェックとエラー時対応方法の表示
- データは数値(閾値管理)、2値、項目管理の3種をサポート(入力値のグラフ化もサポート)

その他

経費管理・引継ぎ連絡・技術文書管理・製品異常管理など

- その他保全業務に必要な機能を総合的にサポート

特徴

業務プロセスの最適化

- 保全関係者の業務ロジック(業務のフロー/作業のフロー)を分析し、各サービスを連携させることで効率的な業務フローを実現します。
- 作業時の情報参照や入力の効率化、データ項目の整備の柔軟性を意識したデザインで、総合的な保全業務の効率化/確実化/改革推進を支援します。

コストの削減

- 在庫の発注点管理、標準在庫数の管理を行うことで、余分な在庫の保持が必要なくなります。
- 高価な部品に関してはシリアル番号単位で使用状況、修理回数、使用期限、使用可能回数などの管理を行うことで、最大限に利用することができます。
- 集まった情報の総合的/効率的な一覧、随所に設けられたメール発信機能を利用することで、製品や保守サービスの品質安定・工場の可動率向上/コスト削減などの実現を支援します。

スキルの継承

- 設備の複雑化、大型化、自動化、高額化が進み、そういった生産設備のメンテナンスの重要性、予期せぬ故障発生時の迅速な対応が重要度を増している昨今、2010年問題、派遣社員の増大の中、保全・補修スキルの蓄積・再利用が重要な課題となります。保全の業務をシステム化することで、スキルの蓄積・再利用を支援します。

他のシステムとの連携

既存の会計/購買/工程管理/品質管理/生産計画/技術文書管理/状態監視システムなどと連携することで、業務全体の効率化を実現します。

設備保全管理システムによる効果サマリー



設備保全管理システム導入サービス

コンサルティング

- 業務分析・コンサルティング
- 導入に関するコンサルティング

導入支援

- インフラ構築支援
- 設備保全管理システム導入支援

開発支援

- カスタマイズ開発
- 既存システムとのインターフェイス開発

運用支援

- サービスイン後の運用・保守サービス
- ヘルプデスクサービス